



「花を咲かす」

出願から戻ってきたみんな
 駅から帰りの道
 少しみだれた息
 少し赤みを帯び頬
 そんなみんなに
 『おかえり』と
 『ごころうさま』と
 声をかけると
 『ただいま』と微笑む
 私たちにとってここは
 『おかえり』
 『ただいま』と言ひ合える
 そんな場所
 そんな時間だった
 ここで見た三度の桜
 ここで過ごした三年の時間
 ここで出会った人たち
 ここでの思い出
 それはすべて過去となり
 それはすべて刻まれる
 もうここにみんなが
 そろうことがないと
 そう思った時
 少しさみしい風が
 心に吹いた
 その心を救ってくれたのは
 『おはようございます』と
 笑顔もくれた君の言葉
 正門の桜の樹
 その枝には小さな蕾が一つ
 それは
 三年前のみんなのよう
 体育館のひな壇に座る
 今のみんなのよう
 その蕾も花を咲かす
 みんなのように花を咲かす

